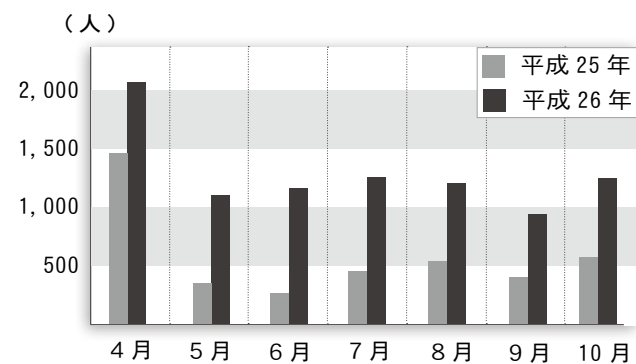


表：平成22年度から25年度までの児童館の利用状況

年度	利用人数（人）			中高生の利用率（％）
	中高生以外	中学生	高校生	
平成 22 年度	115,745	3,007	68	2.6
平成 23 年度	123,994	3,082	201	2.6
平成 24 年度	118,737	3,167	576	3.1
平成 25 年度	113,081	6,264	914	6.0

図：中高生の児童館の利用人数
(平成25年と中高生タイムを開始した平成26年の4月～10月の比較)



児童館に一度、遊びに来てみませんか？



ちとせっこ中高生委員会

かわえ ゆうや
川江 裕哉 委員長

中高生タイムを過ごす中で「自分たちで行事を企画してみたい」と考え、立ち上がったのが「ちとせっこ中高生委員会」です。

委員は高校生が努め、中学生の意見も聞きながら行事を企画・運営しています。

これまでに、バスケットボールやバドミントンなどを楽しむ「スポーツ大会」、花火・肝試しなどの行事を行ってきました。

準備から片付けまでの全てを行い、いろいろな意見を取り入れながら、行事の一つ一つを作り上げていきました。

この経験は、高校卒業後にも役立つと思いますし、後輩たちにも良い形で伝えていきたいと思っています。

児童館は、中学生や高校生が行く場所ではないと思う人もいるかもしれませんが、年齢を気にせず心から楽しめる場所だと思います。放課後の暇なとき、部活動がない日でもいいので、一度、児童館に来てみてください。きっとあなたにも合った場所になるはずです。

平成22年は「ほくよう児童館」を、平成26年にはげんきっこセンターに「希望が丘児童館」を開設し、現在、9か所の児童館があります。

左の表は、平成22年度以降の児童館の利用状況を表しています。この中で、中高生が利用する人数は、年々増加しており、平成25年度の利用率は前年度比の約2倍になっています。

また、左の図は、平成25年と中高生タイムを開始した平成26年のそれぞれ4月から10月までに児童館を利用した中高生の人数を比較しています。

平成26年4月は、中高生タイムを開始したばかりのため、前年同月よりも若干多い数値でしたが、5月以降は、前年の2倍以上の利用人数となっています。

中高生は、児童館でドッジボールやバスケットボール、バドミントン、卓球などを楽しんだり、夏休みなどには、友達同士で宿題に取り組んでいます。

また、中高生タイムがスタートして2か月が経過した頃、自分たちで行事を企画・運営

してみたいという意見から、ちとせっこ児童館を利用する高校生が中心となり「ちとせっこ中高生委員会」が立ち上がりました。

委員を中心に会議を開きながら、これまでにたくさんの行事を企画・運営してきました。

児童館を利用する中高生が増えています

「中高生タイム」で中高生はどのような過ごし方をしているの？



中高生タイムの定番
バスケットボール



トランプの様子

特集

中学生・高校生の居場所づくり 「中高生タイム」

児童館と聞くと、「小学生が利用する施設」と思いがちですが、0歳から18歳未満の児童と乳幼児の親が利用できる施設です。

市は、平成26年4月から9か所の児童館で閉館時間を1時間延長して、中学生と高校生が専用利用できる「中高生タイム」を設けています。

今月の特集では、「中高生タイム」の利用状況や中学生・高校生が児童館の行事に関わる様子を紹介します。

※「中高生タイム」は、日・祝日を除く17時30分～18時30分。
(中学生は、10月～3月まで17時30分～18時)



カラオケ大会の様子



児童館まつりに
ボランティアで参加

ちとせっこ中高生委員会ではこんな活動を行いました。

ちとせっこ中高生委員会では、中高生自身が行事を企画して楽しんだり、児童館行事にボランティアで参加しました。
その様子について、ちとせっこ中高生委員にお話を聞きました。

「スポーツ大会」にはこんな目的がありました

スポーツ大会は、スポーツを通じて交流を深めることを目的として計画しました。これまで2回開催して、多くの中高生が参加してくれました。

競技によっては得意、不得意があり、不得意な競技では、楽しくない思いをした方もいたと後から聞きました。どうすればみんなが楽しめるのか、今後の中高生委員会の課題になると思っています。

また、スポーツ大会には、競い合うことや勝つためにどうすればよいかなど、楽しい場の中でも考えて行動するという目的もありました。

自分で考えて行動するという経験を通じて、学校でもリーダーシップを発揮し、自分の役割をしっかりと果たしていきたいと考えています。

今後も委員を中心に目的を持ちながら活動していきたいです。



むかい ゆうま 委員



※花園コミセンの体育館で実施したスポーツ大会の様子。

「花火・肝試し」の思い出

僕からは、昨年開催した花火と肝試しについてお話しします。

その日は、お昼頃に児童館に行って花火と肝試しの準備をしました。さまざまな種類の花火を購入し、ちとせっこセンター1階の末広保育所にあった仕掛け用の花火台に打ち上げ花火を用意しました。

準備を進めていくにつれて、わくわくする気持ちが膨らんでいきました。

また、肝試しでは、景品のお菓子を用意したり、景品の当たりを決めるため、番号を紙に書いて封筒の中に入れました。

委員のみんなで作りあげた行事なので、とても楽しい思い出になりました。



おくさわ ゆうた 副委員長



「児童館まつり」で、お化け屋敷を行いました

昨年、9つの児童館合同で行われた「児童館まつり」にボランティアとして参加しました。ちとせっこ児童館のブースでは、お化け屋敷を行うことになり、児童館指導員と一緒にコースや仕掛けなどを考えました。

コースは2つ作りました。ぬいぐるみと壁いっぱいにキャラクターの絵を貼り可愛い感じにした、幼児・小学校低学年用のコース。そして、マネキン・人体模型・十字架などを飾り少し怖い感じにした小学校高学年以上用のコースです。

お化け屋敷の開始前から、長い行列ができ、たくさんの方に楽しんでもらうことができました。



ほしかわ わかな 委員

「児童館まつり」の司会を担当しました

児童館まつりのエンディングステージで、司会を担当しました。実は、司会を決めるときの会議を欠席していて、司会の担当になったことを後から聞いて驚きました。まつりの前日は、夜遅くまで福祉センターで会場作りの手伝いをし、当日は朝からエンディングのリハーサルを行いました。

エンディングの北斗中学校音楽部や一輪車クラブなどの発表で、紹介の言葉が長くて、本番でうまく話せるか心配でした。いざ本番を迎えると緊張もピークに。それでもなんとか無事に役目を終えることができ、ホッとしました。

改めて、「やり遂げることができてよかった」と感じています。



※当日の司会を務める様子。
(写真の右から茂木さん、千葉さん)



もぎ りょうま 副委員長

たくさんの声が聴けた「おしゃべりタイム」

「中高生タイム」をより良いものにするために、みんなで話し合いの時間を作りました。

児童館を利用するときのルールとして携帯電話の使用をどうするか、また中高生タイムでどのような行事をやってみたいかなど、さまざまなことを話し合いました。

最初は何を話したら良いのか分からなかったのか、かなり静かな雰囲気…それでも、少しずつ発言をしていくうちに、気が付けば全員が発言するようになっていて、たくさんの声を聴くことができました。



ちば ゆうだい 副委員長



いずみさわ児童館でも高校生が活躍しています

いずみさわ児童館では、3人の高校生が小中学生も一緒に楽しめる児童館行事「年忘れお楽しみ会」の企画に携わり、ゲームを考えたり、児童館指導員たちと一緒に出し物の劇に参加しました。

劇のシナリオは、高校生が作りました。



記事の問い合わせ先

子育て総合支援センター
児童館係

☎(22) 7 8 8 8

子育て総合支援センター児童館係

近藤 和江 主任



「中高生タイム」を利用する高校生が中心となり、これまでたくさんの行事を企画・運営してきました。準備から片付けまで行事の全てを自分たちで行い、譲ることや譲られることなど、声には出ない心のやり取り、違う学年・学校の仲間と人間関係を築く姿が見て取れました。また、高校生が企画する行事に参加した中学生は、小学生も楽しめる映画会や和太鼓教室を企画するなど、次の世代に受け継ぎたいという姿勢を感じることができました。

中高生タイムには、学校以外にも中高生の居場所があり、いろいろな人との関わりを持ちながら新たな自分を見つけてほしいという期待があります。

児童館の行事で経験したことは、「自ら考え、より良いものを提案する力」となり、卒業後も社会で役に立つと思います。そして、この経験がまちづくりにかわるきっかけにもなってほしいですね。

市内全ての児童館で、中高生の皆さんから行事の企画・提案をお待ちしています。中高生の皆さん、ぜひ児童館に遊びに来てみませんか？